

### 03 株式会社ダテ

## カスタムメイドの製品づくりに注力し、グローバルな展開を積極的に推進

#### 1995年以降、独自に海外戦略を展開

株式会社ダテの自動化装置は“DATEC”のブランド名で広く知られており、同社の事業展開は、“独自の戦略による海外展開”“顧客ニーズを重視したカスタムメイドの製品づくり”“精密度・スピードを追求した独自の技術確立”の3点をベースとしていることに注視しなければならない。

海外戦略は、1995年以降から積極的な展開を図ってきた。シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、中国、台湾、韓国等のアジア圏はもとより、米国、カナダさらにはヨーロッパ市場も独自に開拓、グローバルに同社自動化装置の拡販を図っているが、その原点は伊達 一社長が設立したダテインターナショナルにある。伊達社長は、米国において電子工学で修士の課程をおさめたのちに帰国し、単身シンガポールにわたってダテインターナショナルを設立、海外展開の基礎を築くという経緯をたどっているためである。

「地球は一周約4万キロ、情報は即時にかけめぐり、モノづくりの世界も平準化がすすんでいます。それならば視点をかえて、国内、海外といているのではなく、地球丸ごとを視野に入れてもいいのではないか。技術に国境はないのですから。そのなかで海外展開を図るうえでもっとも心がけたのは、それぞ

れの国々のローカル企業と直接接触し、生の声を聞きながら技術をつみあげたことです。安全を重視する、生産性を重視する等、国、企業ごとにニーズが異なるなかで課題を一つひとつ解決していくことが信頼を得ることにつながり、拡販の大きな礎となりました。カスタムメイドを重視する現在の姿勢にもつながっています」(伊達社長)

そして基本はやはり人と人のつながりであることを伊達社長は強調する。各地にキーパーソンを配置し、さらなる世界展開の進展を図っている。

#### 顧客ニーズに即した製品開発を徹底推進

ダテの製品ラインナップは、大別してコイルライン、搬送ロボット、ディスタックフィーダ、FB取り出し装置等より構成されており、プレス自動化装置全般にわたる。

プレス自動化は多岐にわたり、要求は日々高度化されている。個々の顧客ニーズをくみとり、それに適合したシステムをタイムリーに提案していくという姿勢を同社では徹底しており、同社ホームページをみるとその姿勢をよく理解することができる。

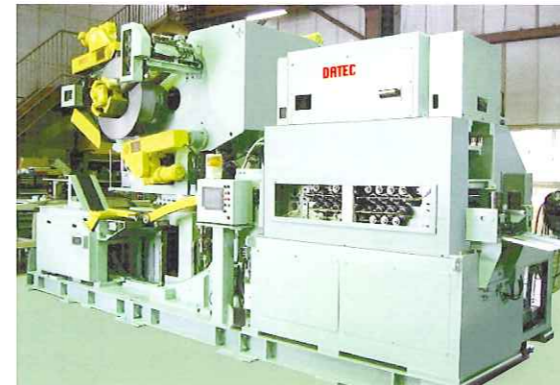
“コスト削減を迫られている”“能率を上げたい”“品質を向上させたい”“工場環境を良くしたい”“狭い工場を有効に使いたい”等、何を解決



12コイル+シート材ライン



ストレートサイド向け搬送ロボット



精密レベラーフィーダ



パイラー



大型プレス向けディスタックフィーダ

したいか項目別に対処法がホームページ上で具体的に述べられている。コスト削減に対しては、ジグザグオシレートフィーダによる材料歩留りの向上を提案。DATECジグザグオシレートフィーダは1点を中心に左右に稼動するため、従来のジグザグフィーダと比較すると材料に与えるストレスははるかに少なく、1250mm幅材料のジグザグ送りを可能としている。また、生産スピードのアップに対しても自動化装置の各種組み合わせを提示し、幅広い選択を可能としている。

次のステップとして、レベリングの平坦度、キズ対策、コストパフォーマンス、省スペース化、チョコ停・オイルミスト対策等々、プレス自動化においてベースとなる技術に対しても個々に対応機のラインナップを明確にしていることにも注目したい。顧客に前面で向き合う姿勢がここにもあらわれている。

そして第3のステップが“特注実績例”である。言い換えればカスタムメイドの実績例である。カスタムメイド仕様をホームページに掲載する例は他にあまりみないが、あえて事例を掲載していることに、同社のカスタム仕様の自動化を推進する強い思いを見ることができる。その内容は、“ダブルクランクプレス5台向け搬送ロボット”“19/21本精密レベラーライン”“米国向け19/21本精密レベラーライン+精密レベラー”“FBプレス向け自動車用クラッチプレート製造ライン”“FB取出し装置”“板厚10mm対応レベラーフィーダ”等々である。

前記の“ダブルクランクプレス5台向け搬送ロボット”は、最大搬送ストローク4500mm、プレス連結台数5、ワークサイズ1000×500mm、ワーク重量12kgfに対応するもの。従来の搬送ロボットはカム駆動のため搬送ストロークは最長1800mm前後であり、ダブルクランクプレスには不向きであった。本システムはこのネックを解消したもので、ダブルクランクプレスおよびストレートサイドプレスの自動化に最適な価格帯での導入が可能となっている。また米国向け精密レベラーラインは平坦度0.05mmを実現したものである。

最新バージョンでは動画での製品紹介も行っており、伊達社長は今後とも一品一様、業種別に新機種開発に力をいれ、高い競争力を保持していきたいとしている。



伊達 一 社長

株式会社ダテ

〒332-0003

埼玉県川口市東領家 5-11-20

http://www.datec.jp